

第1回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議の議事概要

1. 日 時 平成17年2月15日(火) 15:00~17:00
平成17年2月17日(木) 15:00~17:00

2. 場 所 国立情報学研究所 22階会議室

3. 議事概要

議事に先立ち、国立情報学研究所(以下、「NII」という。)から学術情報ネットワーク運営・連携本部(以下、「NW 連携本部」という。)の設置経緯、ミッション及び初回会議を二日に分けて開催したことの説明があった。

(1) NW 連携本部について

NII から、資料1-1「学術情報ネットワーク運営・連携本部規程(案)」について説明があった。これに対して、今後の学術情報基盤の在り方を「研究」に特化せず、広い議論が必要である、との意見を受けて、第2条(目的)の「～ 最先端学術研究情報基盤～」を「～ 最先端学術情報基盤～」(2月17日会議)と修正することで承認された。また、NW 連携本部長にNIIの坂内正夫副所長を選出した。

なおNIIから、NW 連携本部の上位組織として、既設委員会等を改組し、さらに広く学術コミュニティの参画による諮問機関的な新組織の設置を検討している旨の発言があった。

(2) 最先端学術情報基盤構想と今後の進め方について

NII から、資料2「学術情報基盤の整備(SINET/スーパーSINET)説明資料」、資料3「次世代学術情報ネットワークに対する要請・課題等」及び今後の進め方等について説明があり、その後、意見交換が行われた。

主な意見及び確認事項等は、以下のとおり。

- ・現在、ホームページで募集している要望等を3月中に整理・精査し、可能な部分については平成17年度から実施したい。また、100Mbpsと10Gbpsの中間的な帯域も求められている。
- ・この会議の位置づけはどうなっているのか。この会議で合意されたネットワークの企画・立案・運用に関することは、最終決定とっていいのか。
- ・最終決定ではあるが、第一義の責任はNIIが執ることになる。
- ・次世代の学術情報ネットワークは、現状のSINET及びスーパーSINET全体をインテ

グレートしたものである。

- ・ネットワーク設計、国内・国際の回線増強、地域ネットワークの支援及びユーザの意見・要望の反映についても、この場で議論する。
- ・次世代の学術情報基盤については、欧米でも急速に進んでいる。特に欧州においては顕著であり、我が国においても早急な体制整備が必要である。
- ・ネットワークは成長しており、様変わりしている。学術情報基盤を構築する場合、多くの人達にサポートをお願いすることになると思う。どのようなことをすればサポートが得られやすいか、などについても考える必要がある。ハードウェアだけの整備で終わり、という時代ではなく、学術情報基盤としてどのような機能が必要なのか、といったことについても考える必要がある。また、地域ネットワークや加入機関など利用者の近くのレイヤまで考えてやらないとサポートしてくれる人がいなくなるのではないかと。何を困っていて、何が足りないか、などの現状分析も必要である。
- ・インフラを支える人材が不足している。NII が率先してキャリアパスを作ることも必要ではないか。欧米との格差が大きい。
- ・システムと人間の境目が付けられないヒューマンウェアをインフラとして揃えることも重要である。ハード及びソフトの整備だけではなく、ヒューマンウェアとしての人材育成が必要である。
- ・次回の会議は、3月中旬に開催する。現在ホームページで実施しているアンケート調査等をもとに、近々やるべきこと、中・長期的なものなどを整理し、議論を進める。なお、平成17年度の実施分については、5月までに取りまとめる。また、作業の迅速化・効率化を図るため、作業部会を設けることも検討する。
- ・議事の概要は、NW連携本部会議の承認を得た後、NII のホームページで公開する。

- 以上 -